

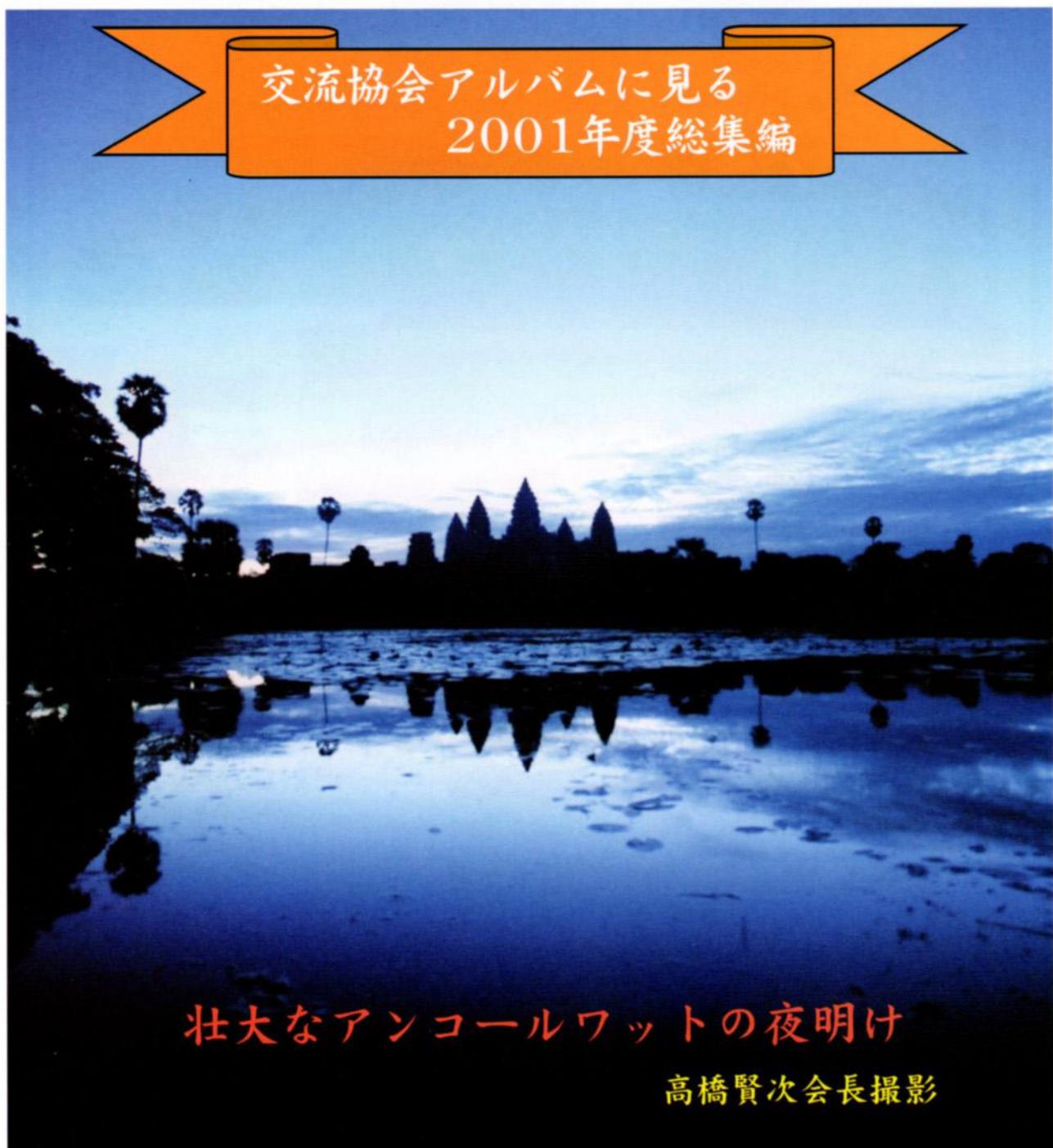
Dear 地球民

第25号
2002年3月発行

編集発行
〒259-0303

ゆがわら国際交流協会
神奈川県足柄下郡湯河原町土肥1-7-1
湯河原町商工会内 TEL.0465-63-0111

交流協会アルバムに見る
2001年度総集編



壮大なアンコールワットの夜明け

高橋賢次会長撮影

2001年4月20日～23日
オーストラリア
ポートスティーブン市より
中高生16名
父兄他7名が来場。

文化交流を通して
湯中生徒や町民と親交を深めた。



すばらしかった
ダンスチームの
パフォーマンス
(4月21日 湯中体育館にて)



湯中生徒に
大好評だった歌と踊り



ホームステイ先の子供たちと
じゃれ合って…
(4月22日 独歩の湯にて)



4月21日
雨中の記念植樹
(星ヶ山にて)



4月29日～5月1日
ポートスティーブン市長
スティーブ・バストイード氏一家
お忍びで湯河原訪問

市長一家がお世話になった
瀬野さん家族と----



4月30日
湯河原ゆかりの美術館の
日本庭園に感激!!



4月30日
神妙な面もちで
茶道体験
杉山茂久副会長
夫妻の指導による





第16回
やっさ国際交流
プログラム
7月30日～8月6日



7月30日
歓迎カードに
驚き、感激そして緊張
(湯河原駅改札口)



7月30日
緊張も一気に吹き飛んだ
コミュニケーションゲーム
(湯河原町商工会館)





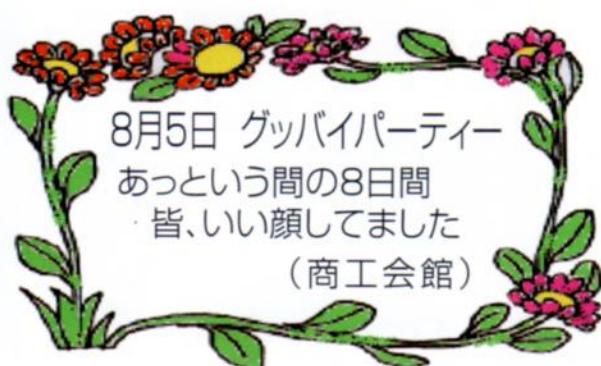
8月1日 意外に上手だった書道体験
(湯河原町商工会館)



8月1日 ギンギラ太陽の下
美術館から万葉公園まで歩いた



8月1日 町内観光で疲れた身体を癒してくれた足湯。それにしても暑かった
(独歩の湯にて)



ホストファミリーと留学生の皆さん



善本 真人 (鍛冶屋)	ワン ウィサー (タイ)	高野 功一 (土肥)	モニカ マンフェディ ボンヴェ (タンザニア)	鈴木 孝芳 (城堀)	サイ ピホウ (台湾)	加藤 功 (宮上)	ヨウ カンジュン (台湾)
力石 幸雄 (土肥)	グレース ュー (アメリカ)	柏木 玲子 (鍛冶屋)	チン イクン (台湾)	浜野ゆかり (吉浜)	ヨウ エングン (中国)	岩倉 崇徳 (中央)	キム ミンボン (韓国)
橋本 経子 (吉浜)	キム ヒョンス (韓国)	鳥光 弘孝 (土肥)	ヴァンデル アントレ ヴィアナ (ブラジル)	梅原 雄蔵 (土肥)	ダニエラ タムラ カワカミ (ブラジル)	藤里 恒子 (土肥)	クラウジア イナダ (ブラジル)
平野 良光 (鍛冶屋)	リン ラミ (韓国)	山田 武夫 (宮下)	ブン コウセイ (中国)	前田 牧子 (吉浜)	ジェニファ チエン (カナダ)	早藤 義則 (鍛冶屋)	サンヤー ラッダウォン (タイ)
							嶋岡 浩二 (吉浜)
							ダニエラ キタダニ サタケ (ブラジル)
							中村てる子 (吉浜)
							キム エジヤ (韓国)



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

平成13年度語学講座も盛大に

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

平成13年度も語学講座として、英語、韓国語、ドイツ語、中国語の4ヶ国語が実施され、多数の受講生が参加した。



ショーナー先生を囲んで
—ドイツ語講座無事終了—

平成13年度語学講座

○ 英語講座(初級)

2001年5月15日より全8回

講師：ジム・アームストロング先生

○ 韓国語講座(初級)

2001年9月8日より全5回

講師：金柄道先生

○ ドイツ語講座(初級)

2001年9月11日より全8回

講師：アンnette・ショナー先生

○ 中国語講座(初級)

2001年10月11日より全8回

講師：杉山鳴先生



平成13年度国際理解講座は2回開催された。

第1回は13年10月4日に、脇田恵暢講師による「アンコールワットの魅力とカンボジアの現状」

第2回は14年1月17日に、金順王講師による「私の日本体験記」

いずれも盛大に有意義な講座であった。



脇田講師を囲み、多くの美しいスライドを通しての講演に感動した受講生の面々



チョゴリの佐々木さんと
チマチョゴリの筆者

感動の国際理解講座

私は、最初、行くのが不安でした。どうしようか迷ったのですが行くことにしました。

行って、まず目に入ったのは「たいこ」でした。私は祭りなどのたいこが大好きなので「楽しそうだなあ」と思いました。

先生の名前は「金順王(キム・スノク)」先生と言い、横浜にいるそうです。やさしそうな、きれいな先生でした。

はじめに、「ハングル文字」を習いました。それを使って、各自、名前を書きました。先生が次々に読んで行きました。

その後、「ハングル文字クイズ」をやりました。例としては、「男便」と書いて「夫」という意味などです。

次に、衣装の説明に入りました。チマチョゴリと、男性用チョゴリを、実際に、1人づつ着させてもらいました。そして、その2人が並んで、作法を習いました。女性は片ヒザを立てて座ります。それは、チョゴリのすそが、シワにならないようにだそうです。

その後に、「たいこ」をやりました。名前は、「チャンゴ」と言うそうです。リズムを教わり、また、代表2人がやらせてもらいました。その「たいこ」は、普通は肩からかけて使うそうです。とてもきれいな音でした。

次は韓国の人日の日本人に対する意識についてやりましたがそれは「ナイショ」にしましょう。先生が特別に教えてくれたので…。

私は、この講座に出て、本当によかったです。日本と韓国は近いのに、昔、日本が犯してしまった「あやまち」のせいで、関係が悪かった。だけど、今は、こうしてワールドカップを通して、だんだんよくなって来ている。私は、このまま、関係が良くなるように、1人1人が心がけて、未来を作つて行けたいと思います。

先生、本当にありがとうございました。

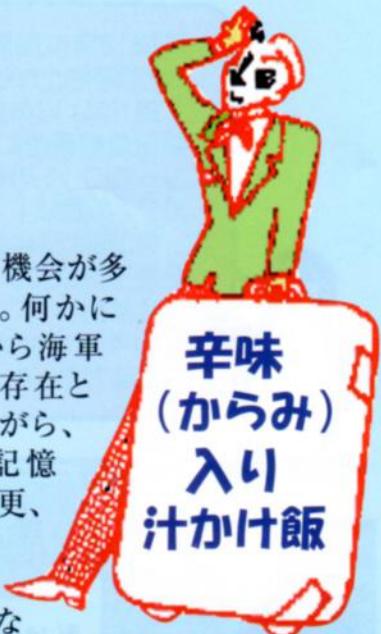
湯河原中学2年

岩倉朋代

Xマスオークション売上金の送り先

01年12月22日に行なったXマスパーティー恒例のオークション売上金52,150円は下記各団体に送金させていただきました。

- アブサラプロジェクト ······ 12,150円
- ネパール教育支援の会 ······ 10,000円
- シャープラニール ······ 10,000円
- アジア交流研究所 ······ 10,000円
- あしなが育英会 ······ 5,000円
- あしなが海外遭児心の支援口 · 5,000円



この飯(めし)の珍奇な言葉を理解できる人は、おそらく現代人にはいないと思う。この意味は旧陸軍が名付けたカレーライスのことである。

海軍はカレーライスとはっきり名付けて、現在でも横須賀では、海軍ライスカレーで評判を呼んでいる。

陸軍は戦時中、英語を敵性語として、徹底的に排除して、一切の英語混じりの言葉の使用を禁じた。

私は残念ながら陸軍に奉仕したので、この被害にあった一人である。

例えば、自動車の訓練を受けているとき、柄付螺回し(えつけらまわし)を持ってこいと言われ、何ですか?と質問したら、馬鹿野郎ドライバのことだ、と言われた、初めからそう言えば、わかるのにと思ったことがある。

英語を使わないことを強制して、兵隊をやたら迷うような教育をした軍隊語は、結局むなしの結果で終わってしまった。

私の言い分は、相手のことを、一切を否定するような態度は、つまるところ自分をスポイルすることに繋がるのだと思うからだ。これは現代にも通じるのではないだろうか。

一方海軍は海外を遠洋航海し、外国

の事情を知る機会が多くたと思う。何かにつけて、昔から海軍はスマートな存在として、残念ながら、比較された記憶がある。今更、旧軍隊の話を取り上げる理由は、野暮な

人を見る度に、私は勝手に陸軍型と海軍型に分けて見る癖がある。これはなんの学問的な裏づけはない。単に面白がっているだけの話だ。

野暮な人…広辞林によれば…世情に通じていない人、人情を解しないこと、風流心のないこと…

野暮な人の反対は「粹な」人ということだが、広辞林によれば…いかにも洗練されていて、人目を引くさま…人情の機微に通じている人…

人にはいろいろのタイプがあるから、この世は面白いのだ。

このような記事を書くようなヤツは野暮な人だ…と言われそうだから、この辺で擱筆することにします。

(石井立夫)



ご寄稿を待ってま～す!!

会員皆様の機関誌「Dear 地球民」です。

エッセイでも、和歌や俳句、絵画や漫画、写真、何でも結構です。皆様の作品で「Dear 地球民」にしたいと願っています。どうぞしそご応募ください。

(提出先:湯河原町商工会内事務局)

